

平成29年司法試験 合格体験記

平成28年度修了（未修コース）埋橋 隆

はじめまして。岡山大学ロースクール未修11期の埋橋 隆（うずはし りゅう）と申します。この度、お陰さまで平成29年司法試験に合格することができました。

まずは、先生方をはじめとして、日々の学習をサポートして下さった法科大学院資料室のスタッフの方々、親切に丁寧な指導して下さった先輩方に御礼申し上げます。ありがとうございました。そして、最後まで互いに切磋琢磨してくれた仲間達にも感謝しています。これからも感謝の気持ちを忘れず、粉骨砕身の努力で頑張ります。今後とも宜しく願い申し上げます。

司法試験を受験して感じたのは、ロースクール初期の勉強の重要性でした。私の場合、直前期に詰め込んだ知識よりも、ロースクール初期にしっかりと時間をかけて学んだ知識の方が、本試験において圧倒的に役立ったと感じています。したがって、1・2年生の方々には、今の勉強時間を大切にしていきたいと思います。もちろん、直前期の追い込みも合格のための重要な要素ですから、もうすぐ受験される方も最後まで諦めずに頑張ってください。

また、問題演習の重要性も感じました。特に、司法試験の過去問は、何度も答案を書いて練習すべきだと思います。私の場合、答案を作成し、合格者の方に読んでいただいたり、合格答案と見比べてみたり、ということをしていました。答案練習をしなくても合格できたという人に出会ったことがないので、来年や再来年に受験を控えている方は、答案を書く練習を可能な限り繰り返していただきたいと思います。

最後に、これから受験を迎える皆様に向けて申し上げておきたいのは、本試験においては最後まで諦めないことが大切だということです。「失敗してしまった」と思った科目でも、意外と良い評価が返ってくることもあります。終了した科目のことは忘れて、一つ一つの科目に全力で取り組めば、きっと良い結果が出ると思います。可否は自分が決めるものではありませんから、最後まで全力で戦ってください。